

第6回協議会（勉強会）の概要について

- 1 日時
平成24年9月6日（木）16:00～17:10
- 2 出席者
○平田静太郎委員長
○藤岡庄司委員長職務代理
○松村佳子委員
○佐藤進委員
○富岡将人教育長
- 3 第6回テーマ
「地域教育力の向上」について
- 4 協議内容
 - 初めに、事務局から、8月28日（火）に開催された「第2回奈良県地域教育力サミット」（以下サミットという。）についての報告があった。第1回サミットの振り返りや地域教育力の向上を図る新たな取組及び先進事例についての説明があり、続いて、サミットに4つの部会を設置し、分野ごとに専門的な議論を深めていくことや、奈良県の教育理念の構築に向けて、今後のサミットで検討していくことについての説明があった。
 - 報告を受けて、委員から、サミットでは活発な議論がなされ、大変有意義な会議であるが、奈良県内の教育関係者や地域の方々にどの程度周知しているのかという質問があり、事務局から、報道発表やホームページ掲載等、様々な機会を通して、学校現場や地域に紹介しているが、アピールの仕方については今後も検討していくと回答した。これに対して、委員からは、もっと広くアピールするなどもう一工夫してもらいたいという意見が出された。
 - 委員から、昔と違い、地域社会が崩壊している中、地域をどう変えていくか掘り下げて考える必要があるとの意見が出された。これに対して、教育長からは、学校という施設や場所を活用し、学校が核となって、地域コミュニティを再構築していきたいと考え、昨年度からサミットを立ち上げた経緯について説明があった。
 - 委員から、学習意欲や規範意識、体力という本県の課題については、地域ぐるみで取り組むことが大切との意見や、地域の中でどのように子どもたちを育てていくかを皆で考えていくことが、結果としてまちづくりにつながり、地域の絆を深め、地域を変えていくことになるのではないかという意見が出された。これに対して、教育長が、「地域と共にある学校づくり」を推進するため、地域教育力推進モデル校を設定し、家庭・地域が学校に参画・協働する新たな仕組みづくりについて検証していることを説明した。委員からは、今回示された県内小・中学校5校をモデルに、奈良モデルを作っていくことは効果的であるとの意見が出され、教育長からもモデル校をベースにバリエーションを広げ、本取組を拡充していく予定であるとの説明があった。
 - 委員から、地域の教育力だけでなく家庭の教育力も低下しているのではないかとの指摘がなされた。次回は10月23日（火）で、「家庭の教育力の向上」について議論を進めることにする。